

# 県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。

鹿児島県立図書館

令和元年7月15日 発行

第100号（毎月15日発行）

<http://www.library.pref.kagoshima.jp>

Tel : 099-224-9511

## ホットニュース

# 椋鳩十氏の伝記 寄贈されました！

椋鳩十氏の伝記が刊行されたということは御存じの方も多いかと思います。椋氏の孫にあたる作家の久保田里花さんが執筆されたということで話題を呼びましたが、その久保田さんがこのほど、当館へこの伝記を寄贈してくださいました。

自らの著書（『椋鳩十 生きるすばらしさを動物物語に』あかね書房）を携えて館長室を訪れた久保田さん。現在の第24代原口泉館長に直接同書を手渡されました。館長は「椋先生の貴重なエピソードを楽しみながら、大切に読ませていただきます。」と笑顔で感謝の言葉を述べました。

児童文学作家の椋鳩十（本名：久保田彦穂）氏は、昭和23年から18年間にわたり当館の第4代館長を務めたことでも知られており、館長室には今も「感動は人生の窓を開く」と書かれた飾り皿が置かれています。

寄贈された同書は、小学校高学年以上向き。7月末には児童文化室の書架に並ぶ予定です。どうぞお楽しみに。



【寄贈くださった久保田さんと原口館長】

## 図書館で探そう、調べよう!

「天文館の地名『おつきや』が、現在は『御着屋』という漢字で書かれているが、過去に読んだ資料では『御春屋』となっている。なぜ書き方が違うのか。」という調査相談をお受けしました。

調べてみると、漢字の由来等にも諸説あるようで、『かごしま歴史散歩』（下堂園純治/編）には「迎賓館に当たる御春屋」、『血は輝く』（佐々木教正/著）には「御春屋というのは藩の米やみそなどをついた場所のことで、ここに今日の裁判所のような役所があったのをいう。」とありました。また、『天文館の歴史』（唐鎌祐祥/著）には「地名の由来について、この付近が船着き場だったので御着屋という地名がついたとよく聞くが」という文言で始まり、本来は「御春屋」であると述べた上で、江戸時代の職制や役所について詳しく書かれていました。さらに、現在の漢字が使用されるようになったいきさつまで記載されていました。

歴史の流れの中で変化していく地名を調べながら、多くの資料が残っているおかげで調査相談ができるという資料のありがたみと、保存図書館という役割をもつ県立図書館だからこそ利用者と資料をつなぐ大切な役割を担うことができるということを改めて実感したところでした。

## 新着図書案内

### 《一般図書》7月31日（水）

- 『歴史の読み解き方』磯田道史/著 朝日新聞出版
- 『魔法使いたちの料理帳』オーレリア・ポーボミエ/著 田中裕子/訳 原書房
- 『本にまつわる世界のことば』温又柔〔ほか〕/著 創元社
- 『文豪たちの悪口本』彩図社文芸部/編 彩図社
- 『石の辞典』矢作ちはる/著 内田有美/絵 雷鳥社

### 《児童図書》7月23日（火）

- 『ねえねえパンダちゃん』西村敏雄/作 ほるぷ出版
- 『ちいさなハンター』佐藤まどか/作 あべ弘士/絵 講談社
- 『ブランの茶色い耳』八束澄子/作 小泉るみ子/絵 新日本出版社
- 『いつか、太陽の船』村中李衣/作 こしだミカ/絵 新日本出版社
- 『初恋まねき猫』小手鞠るい/作 講談社

## 催し物の御案内

- 企画展示 7月3日(水)～8月15日(木)  
「鹿児島国体まであと一年」【開催中】
- 一般閲覧室ミニ展示① 7月2日(火)～7月31日(水)  
「SF・宇宙に想いをはせて」【開催中】
- 一般閲覧室ミニ展示② 8月1日(木)～8月31日(土)  
「もうすぐ2020!」
- 児童文化室ミニ展示① 6月23日(日)～7月21日(日)  
「カラフルだから楽しい」【開催中】
- 児童文化室ミニ展示② 6月23日(日)～8月31日(土)  
「自由研究はおまかせ」【開催中】
- 児童文化室ミニ展示③ 7月23日(火)～8月22日(木)  
「あつ～い夏にはヒンヤリと!」



## 図書館職員のつぶやき

「社会人になってすぐの頃、万華鏡の本を読んだな。」先日、児童文化室で本棚の整理をしていた時に思い出しました。何気なく手に取ったその本から東京に万華鏡博物館なるものがあることを知り、その後東京へ旅行した際に訪問しました。オーナーがたくさんコレクションの中からいくつか紹介してくださり、万華鏡の世界の奥深さを実感。万華鏡作りも体験しました。今ではたまに万華鏡を購入するほどに。

偶然手に取った本から、それまで全く知らなかった世界を知り、体験につながったこの経験。改めて本から広がる可能性の大きさに気付かされました。ふだんは読まない分野の本、たまには手に取ってみませんか。



## 県立図書館に届いた『宝本エピソード』

今回紹介していただいた宝本は、中川ひろたか/文・村上康成/絵の『さつまのおいも』（童心社）です。

わたしの宝本は、「さつまのおいも」です。わたしが小さいころ、お母さんが「うんとこしょ」と読むと、わたしがひっぱるまねをしたり、「くさーいくさーい」の場面では、はなをつまんでくさそうにしたりするしぐさがかわいかったそうです。おいもの顔がのっているさい後のページを見て、いつも「おとうたん（お父さん）」と言ってみながわらっていたそうです。まゆげがにてたからかな？



## 図書館クイズ

にじいろのほんの1冊『おおきなかぶ』  
A・トルストイ/再話（福音館書店）からのクイズです。

なかなかぬけないおおきなかぶ。  
さいごにおつだいにきてくれたのは、  
だれだったかな？

- ①いぬ ②ねこ ③ねずみ

\*ヒント\*

まえばがすごいよ！

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、8月14日(水)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「②せめんと」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

## 図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
7月	14	15	16	17★	18	19	20◆
	21	22	23	24★	25	26	27
	28	29	30	31★			
8月					1	2	3
	4	5	6	7★	8	9	10
	11	12	13	14★	15	16	17◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日：9時～21時

※児童文化室は19時まで

日曜日・祝日（自抜）：9時～17時

- は、休館
- は、学習室のみ開室（9時～17時）
- ★ は、おはなしのじかん（毎週水曜日 15時30分～16時）
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん（第3土曜日 14時～）
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日（7月31日、8月15日【予定】）
- は、児童文化室新着図書の日（7月23日）